

# 平成24年度沖縄振興公共投資交付金

## 事業評価結果

平成25年8月  
沖縄県

# 沖縄振興公共投資交付金の評価制度について

## 評価制度の概要

沖縄振興公共投資交付金は、沖縄県が沖縄の振興に資する事業を自主的に選択して作成した沖縄振興交付金事業計画に基づく事業のうち、沖縄の振興の基盤となる施設の整備に関する事業等の実施に要する費用に対し、国が交付金を交付することにより、沖縄の実情に即した事業の的確かつ効果的な実施を図ることを目的としている。

沖縄県は、投資交付金の目的に鑑み、その執行に際し成果目標及びその達成予定年度（長期にわたる事業等では、当該成果目標の達成状況についておおむね3年程度の適当な期間ごとに定める中間評価年度）を設定し、設定した成果目標の達成予定年度（中間評価年度）以後、速やかに当該成果目標の達成状況について評価を行うこととなっている。

沖縄県は、成果目標及びその達成予定年度の設定並びに成果目標の達成状況についての評価を行った場合には、これを公表するとともに、内閣総理大臣に提出することとなっている。

（沖縄振興公共投資交付金制度要綱より）

## 事業評価の方法

事業評価については、沖縄振興公共投資交付金の成果目標において、平成24年度に①中間評価年度又は、②達成予定年度と設定しているものを平成25年度に評価する。評価の方法は、成果目標毎に設定した定量的な目標値に対する実績値を達成率（％）に換算した上で評価している。

また、目標達成率を踏まえ、さらなる効率化等に向けた検証を行っている。

事業評価（例）

No	成果目標	達成予定年度	中間評価年度	対象事業（事業計画上のNo）	成果指標	単位	目標値（基準値）	達成値（実績値）	目標達成度（％） （実績値/目標値）×100	成果（達成値、目標達成度）の検証	備考
2	市町村立学校の構造上危険な状態にある建物の改築（23校（園））	H24	-	C-1 (No. 49-67, 117-119, 121)	構造上危険な校舎等の改築を実施した市町村立学校の数	校	23	23	100.0	本事業で構造上危険な状態にある校舎等を改築することにより、安全性の改善が図られた。	
3	市町村立学校の不適格改築（4校（園））	H24	-	C-2 (No. 68-70, 122)	教育を行うのに著しく不適当な建物の改築を実施した市町村立学校の数	校	4	4	100.0	教育を行うのに著しく不適当な建物を改築することにより、教育条件の改善が図られた。	

算出された達成率については、各目標毎に下記の評価基準に区分する。

「達成」：達成率が100%

「概ね達成」：達成率が70%以上100%未満

「一部達成」：達成率が70%未満かつ、一部の目標値を達成している場合

「未達成」：達成率が70%未満かつ、すべての目標値を達成していない場合

## 評価結果について

今年度公表した評価結果は、成果目標において平成24年度に中間評価年度と設定した12件及び達成予定年度と設定した24件である。

記号	担当省庁	部局名	分野	H24		H25		H26		H27		H28以降		合計		
				中間評価	最終評価	中間評価	最終評価	中間評価	最終評価	中間評価	最終評価	中間評価	最終評価	中間評価	最終評価	
A	警察庁	公安	交通安全施設	1			1							1	1	
C	文科省	教育	学校	1	18		4							1	22	
D	厚労省	企業局	水道施設				1	1				1		1	2	
		福祉	社会福祉・医療施設		1											1
		病院	医療施設		1											1
E	農水省	農林	畜産				1									1
			農業農村							5		5	5	5	5	5
			森林		1			1			1		1	1	3	
			漁港				1		1				2		4	
G	国交省	土木	道路				3					1	1	1	4	
			港湾	1	1			4	3			4	5	8		
			治水						2						2	
			海岸						1						1	
			下水	4			2		4					4	6	
			都市公園	5	2	1	6	5	10		2		5	11	25	
			住宅						1						1	
H	環境省	環境	自然環境					1						1		
合計				12	24	1	19	11	23	5	3	1	19	30	88	

### ◆中間評価の達成状況

評価対象 目標数	評価			繰越
	達成 概ね達成	一部達成	未達成	
12	12 うち達成 7 概ね達成 5	0	0	0
	100%	0%	0%	0%

中間評価は、事業途中の評価であるが、今回の評価では、概ね成果指標の平成24年度目標値を達成している。

### ◆最終評価の達成状況

評価対象 目標数	評価			繰越
	達成 概ね達成	一部達成	未達成	
24	23 うち達成 23 概ね達成 0	0	0	1
	96%	0%	0%	4%

最終評価については、24件の成果目標中1件が事業計画の変更により次年度へ繰越すこととなったが、残り23件については、成果目標の目標値を達成することができた。

※「繰越」となっている目標については、次年度改めて評価し公表する。

## 分野別の評価結果

### A 交通安全施設

担当課:警察本部会計課

【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

2-(4) 社会リスクセーフティネットの確立

【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

交通量が多い等により交通環境の改善を行う必要性が高いと認められる地区で、交通事故を防止するため、交通安全施設等を整備し交通の円滑を図っている。

【今後の改善案】

現況においては、設定目標をすべて達成しており、今後も計画的に事業を執行する。

### C 学校

担当課:教育庁施設課

【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

5-(3) 自ら学ぶ意欲を育む教育の充実

【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

時代に対応する魅力ある学校づくりを推進するため、公立義務教育諸学校施設及び幼稚園の施設、共同調理場、教員のための住宅等や高等学校等にかかる建物等の整備を実施し、安全で快適な学習環境の整備を図る。

【今後の改善案】

現況においては、設定目標をすべて達成しており、今後も計画的に円滑に事業を推進する。

### D 社会福祉・医療施設

担当課:福祉保健部医務課

【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実

3-(11) 離島における定住条件の整備

【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

離島・へき地における安定的な医療の確保を図るため、診療所の施設整備を行う市町村に対し補助を行う。

【今後の改善案】

平成24年度は、事業計画の変更（医師住宅設置場所の変更）により事業の着手が出来なかった。今後、事業主体である市町村と綿密に調整を行い、計画通り事業を執行する。

# 分野別の評価結果

## D 医療施設

担当課: 病院事業局 県立病院課

### 【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

- 2-(3) 健康福祉セーフティネットの充実
- 3-(11) 離島における定住条件の整備

### 【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

県内各地域において、適切に医療サービスが提供されるよう、必要な医療提供体制の整備を行っている。

新宮古病院施設整備を行うことにより、宮古圏域の地域医療の確保・充実に図る。

### 【今後の改善案】

計画どおり事業は完了し、今後も一層の地域医療の確保・充実に図る。

## E 森林

担当課: 農林水産部 森林緑地課

### 【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

- 3-(7) 亜熱帯性気候等を生かした農林水産業の振興

### 【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

森林の有する県土保全、水源涵養、保健休養など県民の安心安全な生活を営むうえで重要な多面的機能の高度な発揮を図るため、植栽した造林地において、適切な保育施業（侵入木等により過密化した森林の健全化）を実施する。

### 【今後の改善案】

現況においては、設定目標をすべて達成しており、今後も計画的に円滑に事業を推進し、森林の持つ多面的機能の高度発揮を図る。

## G 港湾

担当課: 土木建築部 港湾課

### 【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

- 3-(2) 自立型経済の構築に向けた基盤の整備

### 【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

宮古島市の重要港湾である平良港は、宮古圏域の物流や交流拠点として地域経済の発展に重要な役割を果たしており、港湾機能強化に向けた施設整備が必要となっている。

このため、平良港（漲水地区）の下里船だまり防波堤移設し、航路口付近の操船上の安全性と港内静穏度向上を図る目的で、防波堤延長を90mから140mに延伸させ整備率向上が図られた。

また、石垣港においては、親水・休息空間の創造、海洋性レクリエーション施設の拡充のため、本事業の早期実施が必要である。

本事業を実施することにより、石垣港の利用促進が図られ、ひいては、八重山圏域全体の観光及び産業の振興に寄与することができる。

### 【今後の改善案】

（平良港）平成24年度において、設定目標を達成した。

（石垣港）現況においては、平成26年度に予定している人工海浜の部分供用開始に向けて、事業を推進する。

## 分野別の評価結果

### G 下水道

担当課:土木建築部下水道課

#### 【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

- 1-(2) 持続可能な循環型社会の構築
- 2-(6) 地域特性に応じた生活基盤の充実・強化

#### 【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

本県の豊かな自然環境の保全・再生及び安全なまちづくりの観点から、生活環境の改善、浸水の防除及び海や河川等の公共水域の水質汚染の防止等のため、下水道施設の整備、耐震化を行っている。

また、廃棄物の有効活用の観点から、下水処理過程で発生する下水汚泥や消化ガスの有効活用に取り組んでいる。

#### 【今後の改善案】

現況においては、設定目標をすべて達成しており、今後も計画的に円滑に事業を推進する。

### G 都市公園

担当課:土木建築部都市計画・モノレール課

#### 【沖縄21世紀ビジョンの主な基本施策】

- 1-(6) 価値創造まちづくり
- 1-(7) 人間優先のまちづくり

#### 【事業目的・概要・沖縄振興公共投資交付金の寄与等】

本県の亜熱帯の特性を生かし、花と緑であふれる魅力的な県土の形成を図り、潤いと安らぎのある「緑の美ら島」の創生の観点から、都市における環境緑化や自然の保全、緑とふれあう憩いの場の創出等のため、都市公園施設の整備を行っている。

また、高齢者や障害者をはじめ、誰もが安全・安心して快適に暮らせる人にやさしいまちづくりの推進に向け、都市公園施設のバリアフリー化、老朽化した施設の改築・更新及び長寿命化対策を行っている。

#### 【今後の改善案】

現状においては、設定目標を一部達成できていない状況にあるが、今後は、成果目標を達成するため、効率的かつ効果的な取組みを実施し、事業進捗を図っていく。

平成24年度 沖縄振興公共投資交付金に係る事業評価表

(団体名:沖縄県)

成果目標 No	成果目標 (H24設定)	達成予定年度	中間評価年度	対象事業 (事業計画上の No)	成果指標	単位	目標値 (基準値) ※「達成年度」もしくは、「中間評価年度」がH24となっている場合のH24の目標値	達成値 (実績値) ※「達成年度」もしくは、「中間評価年度」がH24となっている場合のH24の実績値	目標達成度 (%) (実績値/目標値) × 100	成果 (達成値、目標達成度) の検証	備考
<b>【A 交通安全施設】</b>											
1	円滑化対策エリア内の特定道路において、信号機柱の改良、適正な位置への移設、標識・標示の整備を行い、交通安全と円滑化を図る。	H25	H24	A(No. 1~4)	円滑化対策エリア内、信号機、標識・標示整備率	%	25	25	100.0	中間目標としていた整備率を達成し、指定エリア内の交通安全の確保と円滑化を図ることができた。	・整備率=整備済箇所/要整備箇所×100 【目標値】 現況値 0% 中間目標率 25% 最終目標値 100%
<b>【C 学校】</b>											
2	市町村立学校の構造上危険な状態にある建物の改築 (23校 (園))	H24	-	C-1(No. 49-67, 117-119, 121)	構造上危険な校舎等の改築を実施した市町村立学校の数	校	23	23	100.0	本事業で構造上危険な状態にある校舎等を改築することにより、安全性の改善が図られた。	
3	市町村立学校の不適格改築 (4校 (園))	H24	-	C-2(No. 68-70, 122)	教育を行うのに著しく不適当な建物の改築を実施した市町村立学校の数	校	4	4	100.0	教育を行うのに著しく不適当な建物を改築することにより、教育条件の改善が図られた。	
4	市町村立学校の大規模改造 (老朽) (2校 (園))	H24	-	C-3(No. 71-72)	経年により発生した機能低下に対する建物全体の改造を実施した市町村立学校の数	校	2	2	100.0	建物全体を改造することにより、教育環境の改善を図り、建物の耐久性の確保が図られた。	
5	市町村立学校の大規模改造事業 (質的整備) (20校)	H24	-	C-4(No. 73-78, 124, 134-146)	教育内容・方法の多様化等に適合させるための内部改修工事を実施した市町村立学校の数	校	20	20	100.0	内部改修工事を実施することにより、教育内容・方法の多様化等に適合させ、教育条件の向上が図られた。	
6	市町村立学校の屋外教育環境の整備に関する事業 (運動場、学習施設) (5校 (園))	H24	-	C-5(No. 79-81, 125, 127)	屋外教育環境の整備を実施した市町村立学校の数	校	5	5	100.0	計画どおりに整備することができ、屋外教育環境の充実が図られた。	
7	へき地学校の教員宿舎整備事業 (2校)	H24	-	C-8(No. 83-84)	へき地教員住宅を整備した学校数	校	2	2	100.0	計画どおりに整備することができ、へき地における義務教育の充実が図られた。	
8	幼稚園の園舎の新増築 (9園)	H24	-	C-11(No. 85-91, 128-129)	園舎の新増築を実施した幼稚園の数	園	9	9	100.0	計画どおりに整備することができ、幼稚園施設の充実が図られた。	
9	学校給食施設の新増築 (3箇所)	H24	-	C-14(No. 92-94)	施設の新増築を実施した学校給食施設の数	箇所	3	3	100.0	学校給食施設を新増築することにより、学校給食の充実が図られた。	
10	学校給食施設の改築 (4箇所)	H24	-	C-15(No. 95-98)	老朽化した施設の改築を実施した学校給食施設の数	箇所	4	4	100.0	老朽化した施設を改築することにより、安全な学校給食の実施が図られた。	
11	市町村立学校の学校水泳プールの整備に関する事業 (7校)	H24	-	C-16(No. 99-105)	学校水泳プールの整備を実施した市町村立学校の数	校	7	7	100.0	計画どおりに整備することができ、学校体育施設の充実が図られた。	
12	武道場の新改築 (3校)	H24	-	C-17(No. 106-108)	中学校の武道場の整備を実施した市町村立学校の数	校	3	3	100.0	計画どおりに整備することができ、学校体育施設の充実が図られた。	
13	学校屋外運動場照明施設の新改築 (1校)	H24	-	C-18(No. 130)	学校屋外運動場照明施設の新改築を実施した学校数	校	1	1	100.0	計画どおりに整備することができ、学校体育施設の充実が図られた。	
14	防災機能の強化に関する事業 (1校)	H24	-	C-21(No. 109)	防災機能の強化を図るための整備を実施した学校数	校	1	1	100.0	計画どおりに整備することができ、防災機能の強化が図られた。	
15	市町村立学校の太陽光発電等の整備に関する事業 (6箇所)	H24	-	C-22(No. 110-114, 133)	太陽光発電整備を整備した市町村立学校数	箇所	6	6	100.0	計画どおりに整備することができ、太陽光発電等を整備することができた。	
16	県立学校の構造上危険な状態にある建物の改築 (21校)	H25	H24	C-1(No. 1-11, 14, 15, 17-24)	構造上危険な校舎等の改築を実施した県立学校の数	校	21	21	100.0	本事業で構造上危険な状態にある校舎等を改築することにより、安全性の改善が図られた。	
19	県立学校の校舎の新増築 (3校)	H24	-	C-10(No. 28-29, 116)	校舎の新増築を実施した県立学校の数	校	3	3	100.0	計画どおりに整備することができ、教育環境の充実が図られた。	
20	特別支援学校給食施設の新増築 (2校)	H24	-	C-14(No. 44, 45)	施設の新増築を実施した特別支援学校給食施設の数	箇所	2	2	100.0	学校給食施設を新増築することにより、学校給食の充実が図られた。	
21	特別支援学校給食施設の改築 (2校)	H24	-	C-15(No. 46, 47)	老朽化した施設の改築を実施した特別支援学校給食施設の数	箇所	2	2	100.0	老朽化した施設を改築することにより、安全な学校給食の実施が図られた。	

成果目標 No.	成果目標 (H24設定)	達成予定年度	中間評価年度	対象事業 (事業計画上のNo)	成果指標	単位	目標値 (基準値) ※「達成年度」もしくは「中間評価年度」がH24となっている場合のH24の目標値	達成値 (実績値) ※「達成年度」もしくは「中間評価年度」がH24となっている場合のH24の実績値	目標達成度 (%) (実績値/目標値) × 100	成果 (達成値、目標達成度) の検証	備考
23	産業教育施設の整備 ①産業教育施設整備 (名護商工高校他10校28装置)の整備 ・学科改編に伴う特別装置の充実 (1校、2装置) ・実験実習の発展的展開に繋がる新規整備 (1校、2装置) ・装置の老朽化に伴う更新 (9校、24装置) ②産業教育共同利用施設1箇所、1装置の整備 ・装置の老朽化に伴う更新 (1箇所、1装置)	H24	-	C-13 (No. 32-43)	(指標1) 装置の充実化、更新が完了した県立高校の校数  (指標2) 老朽化した装置の更新が完了した施設	校  箇所	11  1	11  1	100.0  100.0	産業教育における設備の充実が図られ、計画通り整備できた。  産業教育における設備の充実が図られ、計画通り整備できた。	
<b>[D] 社会福祉・医療施設</b>											
26	へき地診療所医師住宅の施設整備 ・竹富町竹富診療所医師住宅	H24	-	D3 (No. 1)	施設整備数	箇所	1	0	0.0	医師住宅設置場所が変更となり、新たな用地確保等調整が難航し事業着手が出来ず、次年度繰越となった。	
<b>[D] 医療施設</b>											
27	新宮古病院施設の整備	H24	-	D3 (No. 2)	建築達成度	%	100	100	100.0	事業計画通り平成24年度内で事業を完了した。 整備された新宮古病院は平成25年6月に開院し、宮古圏域のさらなる地域医療の確保・充実に貢献する。	当該事業は既存の制度を活用し、平成21年度に事業着手した。
<b>[D] 森林</b>											
34	侵入木等により過密化した人工林等において森林整備を実施し、健全な森林を1.3%向上させる	H24	-	E1 (No. 2~5)	対象市村における、人工林面積に対する除伐等の実施率	%	1.3	1.7	130.8	当初見込んでいなかった箇所について除伐等を実施することで、目標の率を超えて整備することができた。  本事業により、過密化した森林の健全化が推進され、森林の持つ多面的機能の高度発揮が図られた。	
<b>[G] 下水道</b>											
44	下水を速やかに排除・処理することにより、生活環境の改善、浸水の防除、海や河川等の公共用水域の水質汚濁の防止に積極的な役割を果たし、豊かな自然環境の保全・再生に大きく寄与する。	H26	H24	G (No.224~233, 266, 291, 313, 314, 328, 342, 354, 355, 363, 366, 373, 382, 386, 389, 392, 398, 401, 403, 408, 410, 414, 423, 458, 474, 478, 493, 504)	下水道処理人口伸び率	%	3.2	3.2	100.0	○幹線整備や関連市町村の面整備により下水道処理人口が30,334人増加し、目標を達成した。 ○処理人口の増加により生活環境の改善等が図られた。	・最終目標値 (H26) 6.3% ・社会資本総合整備計画の「沖縄地域の自然環境の保全・再生および安全なまちづくりを推進する下水道整備」計画に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。
45	下水を速やかに排除・処理することにより、生活環境の改善、浸水の防除、海や河川等の公共用水域の水質汚濁の防止に積極的な役割を果たし、豊かな自然環境の保全・再生に大きく寄与する。	H26	H24	G (No.224~233, 266, 291, 313, 314, 328, 342, 354, 355, 363, 366, 373, 382, 386, 389, 392, 398, 401, 403, 408, 410, 414, 423, 458, 474, 478, 493, 504)	下水道接続人口伸び率	%	3.4	3.9	114.7	○幹線整備や関連市町村の面整備により下水道接続人口が32,910人増加し、目標を達成した。 ○接続人口の増加により生活環境の改善等が図られた。	・最終目標値 (H26) 6.1% ・社会資本総合整備計画の「沖縄地域の自然環境の保全・再生および安全なまちづくりを推進する下水道整備」計画に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。
46	下水処理の過程で発生する消化ガスを有効利用することで、環境負荷の少ない都市の形成に寄与する。	H26	H24	G (No.228~233)	エネルギー利用率 (消化ガス)	%	54.9	60.8	110.7	○平成23年度に県管理の那覇浄化センターの消化ガス発電システム増設により消化ガス利用率が増加し、目標を達成した。 ○消化ガスの有効利用により、化石燃料を削減し、環境負荷の少ない循環型社会の形成に寄与した。	・現況値 (H21) 48.5% ・最終目標値 (H26) 60.3% ・社会資本総合整備計画の「沖縄地域の自然環境の保全・再生および安全なまちづくりを推進する下水道整備」計画に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。
47	長寿命化計画及び総合地震対策計画に基づく施設の改修を推進することで、老朽化による事故発生や施設の機能低下を未然に防止し、また下水道施設が被災した場合においても、果たすべき機能を確保し被害の影響を最小限に抑制する。	H26	H24	G (No. 233, 266, 291, 313, 366, 398)	重要な管渠の地震対策実施率	%	20.8	22.2	106.7	○重要な管渠の地震対策を実施し、目標を達成した。	・現況値 (H21) 16.9% ・最終目標値 (H26) 24.1% ・社会資本総合整備計画の「沖縄地域の自然環境の保全・再生および安全なまちづくりを推進する下水道整備」計画に位置付け、社会資本整備総合交付金で実施する同整備計画の対象事業と一体となって目標を達成する。
<b>[G] 都市公園</b>											
62	浦添市の憩いの拠点となる都市公園整備の推進と、緑の骨格となる都市緑地の保全・活用を図るとともに、土地区画整理事業区域内の都市公園整備を推進する。 また、浦添市公園施設長寿命化計画を策定し、その計画に基づき、公園施設の適切な改修・更新を行い、安全で安心して利用できる都市公園整備を推進する。	H26	H24	G (No.329, 330, 331, 332, 333, 334)	一人当たり都市公園面積	m <sup>2</sup>	5.18	5.07	97.9	当初見込んでいた用地の取得ができず整備が遅れが生じた。 浦添市の憩いの拠点となる都市公園の整備や緑地の保全が図られた。	【指標】 ・一人当たり都市公園面積を5.03m <sup>2</sup> (H22) から5.22m <sup>2</sup> (H26) に増加 【目標値】 ・一人当たり都市公園面積：現況 (H22) 5.03m <sup>2</sup> → 中間 (H24) 5.18m <sup>2</sup> → 最終 (H26) 5.22m <sup>2</sup>
65	老朽化した施設の計画的な更新・改修を進めるため、市内都市公園の長寿命化計画を策定する。	H24	H23	G (No.357)	長寿命化計画策定公園数	箇所	26	26	100.0	○目標を達成しており、目標値通りの箇所数の公園の長寿命化計画を策定することが出来た。	【指標】 ・糸満市管内で長寿命化計画が策定されている公園の数を3公園 (H23年度末) から26公園 (H24年度末) に増加する。
66	本計画により、こどもの国公園を中心に都市公園の整備推進を図るとともに、都市公園の利用者の誘客を促す。 また、市民に安全で安心して公園を利用してもらえよう、各都市公園の公園施設の老朽化や危険度に関する調査を行い、改修・更新等を目指した長寿命化計画を策定し、市民に安全で安心して利用してもらえよう都市公園の整備推進を図る。	H26	H24	G (No. 364)	一人あたりの都市公園面積  公園誘客数	m <sup>2</sup>  人/年	9.24  398,500	9.23  392,349	99.9  98.5	一人あたりの公園面積や公園利用者が年々増えてきている中、公園施設長寿命化策定業務を行い健全度を事前に把握することで、軽微な修繕等により使用禁止や事故の予防につなげることができている。それにより公園利用の増進につながっている。目標達成に至らなかった理由として、想定以上に人口が増えたことによる一人あたりの公園面積の減少等が考えられる。  一人あたりの公園面積や公園利用者が年々増えてきている中、公園施設長寿命化策定業務を行い健全度を事前に把握することで、軽微な修繕等により使用禁止や事故の予防につなげることができている。それにより公園利用の増進につながっている。目標達成に至らなかった理由として、本島への台風直撃が複数回あったことで公園利用者数が減少したことが考えられる。	【定量的指標】 ・一人あたりの都市公園面積 (m <sup>2</sup> /人) の目標を、平成26年度末までには9.28m <sup>2</sup> とする。  【定量的指標】 ・こどもの国公園については、バリアフリー化及び施設の充実を図るために園路整備を重点的に整備するとともに、市民の防災機能及び地域活性化の核施設としての都市公園整備に取り組む。なお、平成26年度末までには、公園誘客数を400,000人/年を目標とする。

成果目標No	成果目標 (H24設定)	達成予定年度	中間評価年度	対象事業 (事業計画上のNo)	成果指標	単位	目標値 (基準値) ※「達成年度」もしくは「中間評価年度」がH24となっている場合のH24の目標値	達成値 (実績値) ※「達成年度」もしくは「中間評価年度」がH24となっている場合のH24の実績値	目標達成度 (%) (実績値/目標値) × 100	成果 (達成値、目標達成度) の検証	備考
67	処分制限期間を超える老朽化した遊具等の改築・更新を行うとともに、豊見城市公園長寿命化計画において、改築・更新が必要と判断した公園の整備を推進することで、だれもが安全で安心して利用できる都市公園を目指す。	H25	H24	G (No.367)	施設の改築・更新を行った公園数	箇所	1	1	100.0	○本事業により老朽化し使用禁止となっていた遊具等の改築を行い、公園の安全性が向上し、安心して利用できるようになった。	【指標】 ・平成25年度までに、改築・更新が必要な都市公園23公園のうちの3公園を改築・更新し、安全で安心して利用できる都市公園の整備を行う。 【目標値】 ・施設の改築・更新を行った公園数：現況値 (H21末) 0箇所 ⇒ 中間 (H24末) 1箇所 ⇒ 最終 (H25末) 3箇所
69	都市の拡大に伴う生活環境の悪化や都市生活に生じる緊張感からの開放などから、豊かな市民生活を営める快適な都市環境の整備を行うため、緑あふれる公園の整備をめざすとともに、老朽化した遊具等を再整備やバリアフリー化を行うことにより、利便性、安全性の向上を図る。	H26	H24	G (No.384)	バリアフリー化対策適合率	%	26.6	20	75.2	当初予定していたより、施設の老朽化が著しかったので、バリアフリー化対策より老朽化施設の改築・更新を優先したために、目標達成に至らなかった。	【定量的指標】 宮古島におけるバリアフリー化対策適合率20%(H21末)から40%(H26末)に増加
70	都市の拡大に伴う生活環境の悪化や都市生活に生じる緊張感からの開放などから、豊かな市民生活を営める快適な都市環境の整備を行うため、緑あふれる公園の整備をめざすとともに、老朽化した遊具等を再整備やバリアフリー化を行うことにより、利便性、安全性の向上を図る。	H26	H24	G (No.383)	一人当たり都市公園面積	m <sup>2</sup>	23.67	23.47	99.2	用地取得の目的がたつたので、用地取得や次年度整備に向けた実施設計を優先したために、目標達成に至らなかった。	【定量的指標】 宮古島における一人あたりの都市公園面積23.47m <sup>2</sup> (H21末)から23.87m <sup>2</sup> (H26末)に増加
74	長寿命化計画を策定することで、計画的な維持管理の方針や長寿命化対策を定め、公園施設の安全性確保と機能保全を図るとともに、遊具等の老朽化による事故発生を未然に防止する。	H24	-	G (No.405)	長寿命化計画策定実施公園数	公園	23	23	100.0	公園長寿命化計画を策定したことにより、遊具等の老朽化に応じて、優先的に予防保全が行えるようになった。	【定量的指標】 長寿命化計画策定実施公園数：0公園 (H23年度末) → 23公園 (H24年度末)
<b>【G 港湾】</b>											
86	港湾緑地の整備を行うことにより、地域住民及び観光客の利用促進を図り、親水性のある港湾環境空間の創出を図る。	H26	H24	G (No.312, 520)	緑地の年間利用者数	千人	2,327	1,931	83.0	新港緑地の整備率は7.6%とまだ低く、今後整備を進めることで、利用者のニーズにあった緑地を提供できるべく、目標達成を図る。	【指標】 石垣港の年間利用者数を2,131,612人 (H21) から2,450,000人 (H26) までに15%増加 (石垣港の年間利用者数の増加率) = (評価時点の年間利用者数 - H21の年間利用者数) / (H21の年間利用者数) (%) 【目標値】 現況値 (H22) 2,131千人 中間目標値 (H24) 2,327人 (9%増) 最終目標値 (H26) 2,450千人 (15%増)
87	航路口付近の操船上の安全性のために船だまりの防波堤を改良し静穏度を向上させる。	H24	-	G (No.381)	防波堤の延長	m	140	140	100.0	防波堤延長により船だまり港内静穏度の向上が図られた。	【定量的指標】 船だまりの防波堤移設を行うことにより防波堤延長を90mから140mに延伸させ整備率の向上を図る。

※成果目標Noは、「平成24年度沖縄振興公共投資交付金に係る成果目標」の番号と一致

※当該一覧には、評価年度が到来した成果目標(「平成24年度沖縄振興公共投資交付金に係る成果目標」において達成予定年度又は中間評価年度が平成24年度となっているもの)のみ掲載